

ほげんだより6月

令和2年6月3日

高岡市立高岡西部中学校

誰もが初めての経験である「新型コロナウイルス」予防のための長い臨時休校が終わり、ようやく学校が再開しました。生徒のみなさんと同様に、学校にかかわる全ての大人も学習の遅れを取り戻すため一生懸命努力しています。

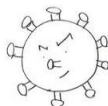


新型コロナウイルスの特性については、国や専門家の方々でさえまだよく分かっていないことが多くあります。そのため、突然方針が変わって不安になることもありますが、自分でできることから感染防止対策を実行し、お互い安全な学校生活を続けたいものです。また感染予防と同時に水分補給など熱中症の予防にも配慮が必要になってきました。

ご家庭では、毎朝の検温と記録、健康観察を引き続き実施して下さるようよろしくお願いします。

新型コロナウイルスを予防しよう！

— 1 三密（密閉・密集・密接）を避ける —



<実態>

本校の生徒はとても仲がよく、ついつい友達の顔や体に触ったり、密着してじゃれ合ったりする場面を多く見かけます。このウイルスは、感染している人に接触することで感染することが分かっています。

◆対策◆

1 密閉を避けるために換気をする

2 密集・密接を避けるために友達と離れる

3 ソーシャルディスタンスを保つ



— 2 マスクを正しく着用する —

<実態>

学校では全ての生徒が授業中にマスクを着用しています。マスクの色や材質は、特に規制していません。このウイルスは、感染している人の飛沫（だ液のしぶき）から感染することが分かっています。

◆対策◆

学校にいる時（会話をするとき）は必ずマスクを着用する



ノーズピースに折り目をつける



ゴムひもを耳にかける



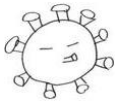
ノーズピースを顔の形に合わせる



蛇腹を伸ばし鼻と口を覆う

予備のマスクをかばんに入れておこう。捨てるときはマスクの外側に触れないようにしよう。

— 3 手洗いをする 清潔なハンカチで手をふく —



<実態>

本校はきれい好きな生徒が多く、トイレの後、給食の前に石けん（シャボネット）を使って手を洗っている場面を多く見かけます。問題はその後です。男子はぬれた手を学生服の上着でふく、女子は髪の毛でふく、ハンカチを友達に借りる、または「自然乾燥」と言ってぬれた手のまま教室に戻っていく場面を多く見かけます。このウイルスは、水で洗い流せる他、石けんウイルスの膜が壊れるため石けんを使っての手洗いによって予防できることが分かっています。しかし、ぬれたままの手は、ウイルスを移動させやすくなる可能性があります。

◆対策◆

1 正しい手洗いをする（登校後・体育の後・トイレの後・給食前後・共用の物を使用する前後）

2 手を洗った後、清潔なハンカチで手をふく

手洗い後に注意してほしいこと

ハンカチで、しっかりふく!



ぬれたままの手は、汚れた手よりも多くの菌を移動させてしまう! = **感染源になる**

汗ふきタオルとは別にハンカチは必ず自分のものをポケットに入れてもってくる。午前・午後、トイレ用など使い分けるために2枚以上もっているともっと清潔。

※自分のためだけでなく、家族や友達など周りの大切な人のためにも自ら進んで実行しましょう。

6月は歯の衛生月間

家庭で、毎日ていねいな歯みがきをしましょう。特に夜寝る前のブラッシングが重要です。

歯みがきのポイント 3つ

1 毛先の当て方

歯と歯肉の境目、歯と歯の間にきちんと当てる

2 力加減

150~200gくらいの軽い力でみがく

3 動かし方

小刻みに動かして1~2本ずつみがく

現在決定している保健関係行事

【尿検査】 6月10日（水）11日（木） 全校対象

【尿予備日】 6月24日（水）

【心臓検診】 6月15日（月） 1年生対象